

研究課題名「健診施設における肝疾患の拾い上げ精度、合併症、経過および予後を明らかにするための研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究は2013年4月1日から2027年3月31日（予定）までに、性別を問わない、愛知健康増進財団、大同病院（だいどうクリニック健診センター、中央クリニック、DAIDO MEDICAL SQUARE）、大垣市民病院、山下病院、豊田厚生病院にて健診を受診した18歳以上の方を対象としています。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：

肝疾患は、高い罹患率と死亡率を伴い、世界的に関心が高まっています。非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）、ウイルス性肝炎、アルコール性肝疾患、自己免疫性肝炎などの慢性肝疾患は、肝硬変、肝不全、肝がんを続発する可能性があります。肝疾患の発症に関わる因子として、年齢、性別、民族性、家族歴、飲酒、メタボリックシンドロームなどが挙げられますが、肝疾患は、初期には無症状であることが多いです。そのため肝疾患の予後を改善し、合併症のリスクを低減するためには、早期発見が不可欠です。

そこで本研究の目的は、健診施設の受診者データを総合的に分析し、肝疾患の拾い上げ精度、肝臓を含む全身合併症、経過、予後を明らかにすることです。この研究の結果は、肝疾患の的を絞った予防やスクリーニング戦略の開発、および肝疾患患者の管理・治療の改善に役立てることができます。

研究方法：

上記の期間に愛知健康増進財団、大同病院（だいどうクリニック健診センター、中央クリニック、DAIDO MEDICAL SQUARE）、大垣市民病院、山下病院、豊田厚生病院にて健康診断を受けられた方の、匿名化されたデータを用いて肝疾患の拾い上げ精度、合併症、経過および予後を検討します。

研究期間：2025年3月4日～2028年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：既往歴、BMIなどの身体情報、血液検査データ、腹部超音波検査データ、内視鏡検査データ、X線検査データ、ほか生理学的検査データ、医療機関で精密検査対象となった場合は、その回答書。

4. 外部への試料・情報の提供

行いません。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学・講師・本多 隆

愛知健康増進財団 診療所長・小嶋 哲人

大同病院 院長・野々垣 浩二、消化器内科主任部長・西川 貴広

大垣市民病院 院長・豊田 秀徳

大垣市民病院 消化器内科医長・安田 諭

山下病院 理事長・服部 昌志

豊田厚生病院 消化器内科代表部長・都築 智之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大垣市民病院 消化器内科

院長 豊田秀徳

医長 安田諭

〒503-8502 岐阜県大垣市南頬町4丁目86番地

TEL(0584)81-3341 FAX(0584)75-5715

466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

052-744-2169

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学・助教・今井則博

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・助教・伊藤 隆徳

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・病院助教・横山 晋也

名古屋大学医学部附属病院 循環器内科・病院助教・平岩宏章

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学・講師・本多 隆

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学・講師・本多 隆